

## 古の栄華を伝える町並み。

広島県沿岸部のほぼ中央に位置する竹原市。瀬戸内海に面する同市は、江戸時代後期に製塩業で栄え、浜主と呼ばれる裕福な塩田経営者の豪邸が立ち並んだ。重要伝統的建造物群保存地区には現在も、江戸期から大正期までのこうした豪商の屋敷が残っている。写真中央は、江戸末期に建築された松阪邸。明治12年（1879年）に全面的な改造を行い、現在の形に。薪問屋・石炭問屋から塩田経営、廻船業、醸造業と多角経営を行い、庄屋や町長も務めた。

（P22から、作家・藤岡陽子さんによる広島県竹原市の紀行文を掲載しています）

文／豊岡昭彦

### 写真／かくた みほ

写真家。三重県鈴鹿市生まれ。スタジオマンを経て、写真家小林幹幸氏に師事、その後独立。写真集『あふるる』、『キラリキラリ』などのほかに、写真の撮り方を解説する『写真の撮り方 きほん BOOK』などの著書も。  
<http://www.mihokakuta.com/>



GLOBAL  
EDGE

## 特集 世界を惹きつける日本を目指して

Focus On Scene 古の栄華を伝える町並み。 02

Global Headline 寺島 実郎  
ロシアを軸にユーラシアのエネルギー地政学を考える。 05Global Vision  
世界を魅了する「禅」のころ  
枅野 俊明 × 前田 泰生 06Opinion File 渡辺 靖  
真の国際発信力とは？ 14Opinion File 村田 吉弘  
日本料理の神髄を世界へ 18Home of J-POWER 藤岡 陽子  
賢人の意思を継ぐ豊かな海の町を歩く  
広島県竹原市／竹原火力発電所 22J-POWER Community 地域とともに  
サッカーを通じて高め合う豊かな心とチームワーク 30エネルギー保守の現場  
オーバーホールで“健康体”をキープ。 32Global Eye 日本の魅力  
和太鼓アーティスト アート・リー 34

匠の新世紀 天池合繊株式会社 35

Venus Talk 切り絵作家 横山 路漫 38

「音のソノリティ」を詠む  
歌人 小島 なお 40

J-POWER NEWS 41

大久野島には約700羽のアナウサギが生息している（広島県竹原市）。

表紙イラスト：鯨江 光二  
本文デザイン：田村 嘉章、中川 まり、渡辺 美岐  
制作協力：Weber Shandwick（ウェーバー・シャンドウィック）

日本は自国のエネルギー供給において原油の約9割、LNGの約6割を中東に依存しているということがこれまでの常識だった。だがこの常識が今、大きく変わるうとしている。

ここに興味深い数字がある。2014年、日本のエネルギー供給に占めるロシアの割合が、原油で8・1%（13年7・0%）、LNG9・0%（同8・7%）、石炭7・6%（同6・0%）となった。ロシアへの依存が加速していることがわかる数字だ。米軍のイラクからの撤退以降、「アラブの春」、そして過激派組織IS（イスラム国）の台頭によりますます混乱しつつある中東。この中東への依存度を減らし、エネルギー供給源を多角化することが日本のエネルギー戦略の基本方針といってもよい。こうした戦略の選択肢の1つがロシアからの化石燃料の輸入だ。

日本の現政権の近隣諸国との外交に注目すると、中国、韓国との関係がぎくしゃくする一方、ロシアとは比較的良好な関係を構築してきた。だが、ロシアのクリミア編入、ウクライナ上空でのマレーシア航空機撃墜事件などにより、この外交努力に暗雲が立ちこめた。

欧米諸国がロシアに経済制裁を行っている中、「日本がロシアに接近している」とも見て取れるこのような数字は、G7諸国、とりわけ米国にとっては衝撃的であろう。米国がある種の警戒感を持って日本を

見ていることは間違いない。米国産シェールガスの日本への輸出解禁を前倒しにするなどの動きは、日ロをこれ以上接近させないための戦略のようにも見て取れる。

一方のロシアは、欧州の制裁に対抗する形で中国に接近。中国との間で30年にわたるLNG供給協定を結んだ。中国側も習近平主席がロシア主催の祖国防衛戦争勝利70周年記念式典に参列するなど、親密さをアピールしている。だが、この中ロの接近にはそれぞれの思惑が絡んでおり一筋縄ではいかない。例えば中国が肝いりで進め、英国をはじめとする欧州各国が参加を表明しているAIIIB（アジアインフラ投資銀行）創設の動き。これは中国が推し進めようとする「新シルクロード構想」（中国から欧州までの陸路や海路のインフラを整備し、巨大な経済圏を構築する）の一環である。ロシアにとっては、自国の「裏庭」に中国に土足で入り込まれることになり、このまま黙って傍観することはないだろう。

ロシアは中東においても、核開発をめぐり米国との関係が改善しつつあるイランに対し武器輸出を行うなど、水面下では虚々実々のかけひきが行われている。

欧州からアジアにまたがる「ユーラシア国家」ロシア。日本は、このロシアをどのようにとらえ、どう対応していくべきか。その構想力が今求められている。

（2015年5月25日取材）

## Global Headline

ロシアを軸にユーラシアの  
エネルギー地政学を考える。

## 寺島 実郎

てらしま・じつろう

一般財団法人日本総合研究所理事長、多摩大学学長。1947年、北海道生まれ。早稲田大学大学院政治学研究科修士課程修了、三井物産株式会社入社、調査部、業務部を経て、ブルッキングス研究所（在ワシントンDC）に出身。その後、米国三井物産ワシントン事務所長、三井物産戦略研究所所長、三井物産常務執行役員を歴任。主な著書に、『二十世紀から何を学ぶか』（2007年、新潮選書）、『世界を知る力 日本創生編』（2011年、PHP新書）、『リベラル再生の基軸—脳力のレッスンIV』（2014年、岩波書店）、『若き日本の肖像—一九〇〇年、欧州への旅—』（2014年、新潮文庫）など多数。

寺島先生のトーク番組が放送中です

BS11で毎週金曜夜9時から、寺島実郎先生がMCを務める本格トーク番組「報道ライブ21 InsideOUT『現代ビジネス講座』世界を知る力」が放送中です。毎回著名な識者をゲストに、「経済・金融・国際情勢」について語り合います。



# 世界を魅了する 「禅」のこころ

曹洞宗徳雄山建功寺住職  
庭園デザイナー

J-POWER会長

枡野 俊明 × 前田 泰生

歴史ある禅寺の住職にして、世界に知られた庭園デザイナー。二足の草鞋で「禅のこころ」を広めんと奔走する枡野俊明氏に、世界から見える日本について語っていただいた。

悠久の歴史を思わす  
禅宗の古刹に立つて

**前田** こちらの寺は境内の樹木も大変立派で、長い歴史を偲ばせます。

**枡野** 建功寺の創建は1560年頃で、ほぼ450年が経ちます。私も日本曹洞宗の大本山は、開祖の道元禪師が福井県に開いた永平寺と、第四祖の瑩山禪師が開き横浜市内に移転した總持寺の2つが、全国の宗門寺院の父親と母親のような役割を担っています。

**前田** 父と母の役割、とおっしゃいますと……。

**枡野** 宗門の修行僧が各地から集まり、そのどちらかで修行を積むのですが、寺院の数では總持寺の流れをくむほうが多い（※）。企業経営に例えるなら、起業して会社の地歩を固めた永平寺と、全国規模に事業を広げた總持寺の二人三脚で発展してきたわけです。

**前田** ご住職は、近くにある總持寺で修行をなさったわけですね。禅の修行は非常に厳しいとよく耳にしま





## 「毎日が修行であり、修行に終わりはないのでですね。」

と整理されて、サクサク判断がつくような日がありませんか。そういう時は大概、心の中に余分なものが何一つ滞っていない状態なのです。

**余分なものを削ぎ 本来の自己に出会う**

**前田** 心に余分なものがない状態、それを「禅のころ」と呼ぶならば、我々ビジネス界に身を置く者にとつては、千里の徑庭を隔てた境地といえそうですね。私自身の頭の中を覗

いてみても、妄想、煩惱、執着心のオンパレードです。

**枡野** 煩惱や執着は、人間、生きていく限り誰しにもあります。緩んだ身体にへばりつく体脂肪のようなもので、放っておけば際限なく増えていく。すると、一点の曇りもない鏡のように美しい自分の心が、陰に隠れて見えなくなります。これを私は「執着心のスパイラル」とか「心のメタボ」と称して、そこからの脱却をお勧めしています。

すが、実際はいかがでしたか。

**枡野** 大変でした。特に冬場は、空腹と寒さに耐えながら、朝夕に坐禅を組み、合間には境内をくまなく掃除する作務があつて、書物を読んだり、鳴らし物の稽古をしたりもします。北陸の永平寺では雪かきや雪下ろしも加わるので、さらに過酷です。

**前田** 実は私も、毎日寝る前に30分ほど坐禅を組みます。できるだけ頭を空っぽにして、ただ座っているだけですが、丹田呼吸法（※2）を取り

入れたせいか、身体の調子まで良くなりました。

**枡野** それはすばらしい。禅僧が行う「夜坐」がまさにそれで、丹田呼吸で姿勢も血流も良くなり、心身がリラックスして心地よい眠りに誘われます。かつて摂心という特別な坐禅期間では、修行僧には、夜寝る時も坐禅のままという「坐睡」が課せられたものですが、幸い、私が修行した時代には横になって休ませてもらえました。

## 「寝食も忘れ、一心不乱に座すと心身が研ぎ澄まされてきます。」



枡野 俊明(ますの・しゅんみょう)

1953年神奈川県生まれ。玉川大学卒業後、大本山總持寺で修行し、曹洞宗徳雄山建功寺の第18世住職に。「禅の庭」の創作活動を行う庭園デザイナーとして活動。多摩美術大学環境デザイン学科教授として教壇にも立つ。枯山水などをういた庭園を国内外で数多くプロデュースし、2006年「ニューズウィーク」誌日本版で「世界が尊敬する日本人100人」に選出される。主な庭園作品に駐日カナダ大使館、セルリアンタワー東急ホテル庭園など。



近著の『心に美しい庭をつくりなさい。』（講談社）と『禅のおもてなし生活のすすめ』（こう書房）。



庭園デザイナー・枡野俊明氏の代表作の一つである祇園寺客殿庭園の「聴楓庭」。同寺では他にも「水到渠成の庭」、紫雲台庭園「龍門庭」などの作品が見られる（茨城県水戸市）。写真提供：建功寺

Global  
Vision  
Masuno Shunmyo  
Maeda Yasuo

**前田** 坐禅を組むと気持ちよく、眠たくなりますね。でも、禅寺修行で居眠りでもすれば、ムチのような「警策」で背後からピシリッと（笑）。

**枡野** 修行中は食事を十分にいただかないので、空腹のおかげで眠気がこないのです。むしろ何日も座り続けると頭が冴えてきて、大勢の修行僧たちが坐禅を組んでいる僧堂の中が、ものすごい緊張感に満ち満ちてくる。寝食も忘れ、一心不乱に座すうちに、心身がピンと研ぎ澄まされた状態になります。

**前田** 私が禅に心惹かれるのは、まさにそこです。聞きかじりで坐禅らしきことを始めた身には、例えば、何もかも放り出し、捨て去ることによって自分本来の心がそこに残るという「放下着」の境地など、興味が尽きません。

**枡野** 平生ならば、仕事や人間関係のあれやこれやでパンパンになっている頭の中が、何かのきっかけでスッと

**前田** 心からこそ毎日が修行であり、修行に終わりはないのでですね。

**枡野** はい。どう生きたらいいか、どう自分の生き様をつくろうかと考えるのは哲学の領分です。しかし禅は、その考えを身体で実践して、「行」として修めようと一心に励む、すなわち「修行」です。ただ見方を変えますと、煩惱は人間を成長させ、前に進める起爆剤にもなりますから、「ほどよい」ところで精神を維持できるとような訓練が求められるのです。

**前田** しかし、その頃合い加減が何とも難しい。心に戒めたつもりでいても、1つ手に入れると、もう1つ欲しくなるのが、我々凡俗の常ですから。

**枡野** それに対する処方が、いわゆ

### Keyword

※1 曹洞宗の大本山 13世紀中頃に道元禪師が開いた永平寺と、14世紀前半に第四祖瑳山禪師が開いた總持寺が曹洞宗の大本山と並び称される。両本山の流れをくむ宗門の寺院数は現在、永平寺系の約700寺に対し、總持寺系は約1万5000寺を数える。

※2 丹田呼吸法 下腹にある「丹田」に力を込め、吐く息に意識を集中して、ゆっくり1、2、3と数えながら呼吸する。腹式呼吸の一形態で、健康増進や精神面などへの効能をうたう説もある。



る「知足<sup>ちそく</sup>」です。自分は今の状態で十分満たされているのだと「足るを知る」こと。あれも欲しい、これも欲しいでは気持ちが追われるだけです。何か1つに打ち込んで、自然にそれが入ってきたという感覚がつかめてくると、だいぶ気持ちが落ち着きます。

**前田** 私も仕事を通じて悩んできました。これからも継続して、より積極的に修行を積んでいきたいと思っています。

**枡野** 仕事に定年はあっても、人生に定年はありません。昔から、現役時代に一事を成した方がよく隠遁生活を送られました。一切の煩わしさから離れて、自然の移ろいと共に自己を見つめつつ静かに暮らすという、実はあれが日本人の美意識にかなった究極の生き方なのだと思います。余分なものを削ぎ落とした本当の人生を歩み、ご自身の生き様を極めることができるのです。

## 伝統文化に息づく 「禅のこころ」とは

**前田** そうした「禅のこころ」が、実は、日本の伝統的な文化や芸能の中に息づいている。そればかりか、禅を起源とする考え方や立ち居振る

所を失った禅僧は、それこそ樹下石<sup>じゅうかせき</sup>上に坐禅を組んで修行を続け、自然や宇宙と自分が一体になるよう試みました。そうした「禅のこころ」が、日本の四季折々の自然と出会い、それと共生すること至高の美しさを見出した。仏教では、この共生を「ともいき」といって、自然への親愛や畏敬の念につながるのです。

**前田** 日々の修行を通じて、我々凡俗にも備わっている気高い精神性を呼び覚ますことが肝要であると。そのために妄想・煩惱・執着を削ぎ落としていくわけですが、私などは、それを全部放り出したら何も残らないのではと心配になります。

**枡野** いえいえ。すべて放り出した先にある自分の本当の命が、今ここで呼吸ができて、こうしてお話できることが、なんてありがたいことなのだと感じさせてくれます。結果を追い求めて執着心を起こしてはならない。今なすべきことに脇目もふらずに取り組んでいれば、結果は後からついてきますから、それで事足りるのだと思うことが重要です。

## 「禅の庭」の美意識が 世界を魅了している

**前田** ご住職には、18代続くこの建

舞いが、我々の日常生活の様々な場面に生きていると、ご住職は常々ご指摘になっていますね。

**枡野** 禅のルーツをたどると、お釈迦様から数えて28代目の達磨大師に行き着きます。その達磨さんがインドから中国へ渡り、初めて「禅」の考えを伝えたことにより、当地で禅宗が栄えました。その過程で7つに分派した禅のうち、曹洞宗と臨済宗

## 「図面通りの西洋の庭園に 対して、「禅の庭」は 大地の持ち味を引き出します。」



## 「合理主義に慣れ親しんだ 欧米人から、「禅の庭」の依頼が 後を絶たないとか。」

功寺を支えながら、「禅の庭」をつくる庭園デザイナーとしてのお役目があります。その名声は国内から広く世界へ波及し、各国各地に庭園を創作することを通じて「禅のこころ」を広めてもらっていますね。私も、奈良や京都へ行くと古刹に詣でて仏像や伽藍<sup>がらん</sup>を拝見し、いつとき庭を眺めて過ごします。

**枡野** その時間がとても大切です。

Global  
Vision  
Masuno Shunmyo  
Maeda Yasuo

の一部が日本に渡来して、中国で禅はほぼ途絶えてしまいました。

**前田** 鎌倉時代の初期、その中国から曹洞宗を持ち帰られたのが道元禪師でした。私もかつて福井県で勤務した折に、永平寺へは何回か足を運びました。

**枡野** 禅宗がそのような曲折を経て日本へ伝わった時、禅の思想や修行法などはすでに確立されていました。しかし、それを芸術、芸能、武術といった形や空間、動きのあるものに昇華させたのは、日本人です。禅と結びつくことで、剣術が剣道に、書が書道に、立花<sup>りゅうか</sup>が華道に、茶の湯が茶道になりました。古来の技芸を、生き方まで極める「道」に進化させたことが、日本における禅の最大の功績であろうと思います。

**前田** 春夏秋冬、自然に恵まれた日本は、国そのものが美しい。一方で地震や台風などの災害も多いため、日本人には自然に対する親愛の情と、畏敬の念があるように思います。そういう資質が「禅のこころ」と結びつき、日本人の精神性をより崇高なものにしたのではないのでしょうか。

**枡野** その通りです。かつて中国で仏教が排斥され、僧侶が寺を捨てて山中に逃れた時期があります。抛り

しょうか。

**前田** 我々、例えば西洋風の庭を見ても美しさを感じますけども、「禅の庭」が醸し出す美しさはそれとはまったく異質な気がします。どこがそんなに違うのでしょうか。

**枡野** 私がよく例に出すのは、庭の「地心<sup>ちしん</sup>」を読むということ。西洋の庭園では、まず敷地を平らにならして、その上に綿密に設計された図面の通りに造園していきます。「禅の庭」では、その大地に元々備わっている持ち味を、あるがままに引き出そうと考えます。傾斜地であれば、その斜面をどうやったら美しく表現できるだろうと。

**前田** いかにして自然の長所を伸ばし、短所を補おうかと知恵を絞るプロセスは、企業が人材を育てる際の心構えに通じるかもしれませんね。ところで、西洋流のいわば合理的な造形や美意識に慣れ親しんだ欧米人の中に、昨今、禅の世界に魅了される人が急増しているそうですね。海外からご住職に、「禅の庭」をつくってほしいとの依頼が後を絶たないとか。

**枡野** ありがたいことに、私どもでは対応しきれない程のオファーが舞い込みます。依頼者の多くは先端的なビジネスの分野で成功を収めた





れますね。でも、それは一方通行の見方で、日本や日本人に備わった美風に世界が魅了されていると知るべきです。例えば、外国人観光客が温泉宿の女将さんや仲居さんの「おもてなし」に感動するのは、日本人の心のこまやかさや慎ましさ、物腰の柔らかさ、立ち居振る舞いの美しさに感銘を受けるからでしょう。

**前田** 同感ですね。そういうものを空気みたいに「あって当然」と見なしていると、長年かけて築き上げた価値観や美意識を見失ってしまう。当社の掲げる「人々の求めるエネルギーを不断に提供し、日本と世界の持続可能な発展に貢献する」という企業理念についても同じことがいえます。ごく当たり前のことのように

思えても、常日頃からそれを明確に意識して、より強固なものにしていかなないと、それを見失いかねません。**杣野** 企業が大きくなり、外の世界へ出て行くとする時、そうした根本の理念が一層重要になるのではないのでしょうか。眼前の仕事を進めることはもちろん重要です。しかしそればかりに囚われると、単に仕事を

「こなす」だけに終始してしまう。禅の思想に照らしているなら、この仕事をすれば人を幸せにできる、すると自分にも幸せが巡ってくる、という好循環をつくるのが大事です。**前田** ぜひ、そうありたいものです。J-POWERという大きな輪の中で、1人ひとりが心の通った、魂の入った表現を、1つひとつの仕事に盛り込んでいく。電力システム改革が進みつつある今、当社を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。その渦中であって、私どもJ-POWERグループは人材力・チーム力の向上に重点を置きながら、日本と世界の人々に電気を届け続けることを使命とし、社会に貢献していきたいと思えます。

**杣野** そのリーダーシップをとられる前田会長が、禅の世界の良き理解者であり、実践者でもあるとのことお話を伺って、私も大変心強く思いました。今後のますますのご活躍を心より念じております。**前田** 今夜も「夜坐」の修行は欠かしません（笑）。本日は大変身になる勉強をさせていただき、本当にありがとうございます。

（2015年5月11日実施）

方々ですが、禅に強く傾倒した欧米人としてよく知られているのが、アッブル社の故スティーブ・ジョブズ氏です。若き日に永平寺で修行し、曹洞宗の在米の禅センターに足繁く通ったという逸話もごいます。そのジョブズ氏が創作し、今日の情報端末市場を席巻している製品群をよく見ると、余分な機能は省かれていて、誰にも使いやすく、端正なたずまいが実に美しい。これはまさに、禅の思想に最先端の技術を載せて大成功を収めた代表例ではないか、と私は見えています。

## 相互通行で見直すグローバル化の意味

**前田** 私どもの会社、J-POWERは60



Global  
Vision  
Masuno Shunmyo  
Maeda Yasuo

杣野氏の庭園作品のうち、右・寒川神社「直心庵」への路地（神奈川県高座郡）。左上・「禅の庭」のプランニングを依頼主と打ち合わせる杣野氏。左下・駐日カナダ大使館（東京都港区）。写真提供：建功寺

年以上にわたって全国各地に発電所を建設し、電気をつくり、送り届けています。電力事業というドメスティックな印象を持たれがちですが、当社は早くから海外への技術協力などを進め、今日、アジアや米国などで約40件もの発電プロジェクトを立ち上げるまでになりました。ですから企業として、また個々の社員にとって、視野をグローバルに広げて、なおかつ日本や日本人の美点を仕事に生かそうというご指摘は、大いに傾聴に値します。**杣野** グローバリズムという言葉は、海外の先進的な事例に倣うとか、形を合わせるといった意味でよく使わ



J-POWERが技術協力したモンドルキリ州小水力地方電化計画竣工式にて（2009年／カンボジア）。写真右は、カンボジアのキアット・チョン副首相兼財務経済大臣。





# 真の国際発信力とは？ パブリック・ディプロマシーの時代



渡辺 靖  
慶應義塾大学  
環境情報学部教授

## 他国民の「心と精神」を 勝ち取る戦略

少子高齢化や経済成長の鈍化による相対的な国力の縮小、そしてそれに伴う国際的影響力の低下が懸念される中、日本でもパブリック・ディプロマシー（以下、PD）への関心が高まりつつある。PDとは、政治家や外交官による伝統的な外交ではなく、広報や文化活動を通じて民間とも連携しながら外国の国民や世論に直接働きかける外交戦略のことで、一般的には「広報文化外交」と訳されることが多い。現在、日本政府が力を入れている「クール・ジャパン戦略（※1）」もPDの一例である。

PDの主な手法としては①対象理解、②政策広報、③文化外交（言語教育や文化芸術イベント）、④交流外交（人物交流や知的対話）、⑤国際報道が挙げられる。②「政策広報」と

### 〔パブリック・ディプロマシーの5類型〕

- 1 対象理解 Listening
- 2 政策広報 Advocacy
- 3 文化外交 Cultural Diplomacy
- 4 交流外交 Exchange Diplomacy
- 5 国際報道 International Broadcasting

もつともPDの概念自体は古くから存在し、1960年代には世界各地で巻き起こった反米主義運動に対して米国が展開した文化政策として、一躍注目を浴びた。そのPDがなぜ近年再び注目を集めるようになったのだろうか。PDに詳しい慶應義塾大学の渡辺靖教授はその理由を次のように指摘する。

「PDへの関心が高まっている背景には、軍事行使のハードルが高くなっていること、そしてグローバル経済の相互依存が進んだことが挙げられます。これによって軍事力や経済力といったハード・パワーの影響力が相対的に弱くなっています。そしてハード・パワーの代わりに重視されるようになったのがソフト・パワーであり、それを発信する手段としてPDに注目が集まっているというわけです」

ソフト・パワーとはハーバード大学のジョセフ・ナイ教授が提唱する概念で、国家が軍

出所：フューチャーブランド社調べ

### 〔国別ブランド評価ランキング(Country Brand Index)の推移〕

| 順位 | 2009年    | 2010年    | 2011年-2012年 | 2012年-2013年 | 2014年-2015年 |
|----|----------|----------|-------------|-------------|-------------|
| 1  | 米国       | カナダ      | カナダ         | スイス         | 日本          |
| 2  | カナダ      | オーストラリア  | スイス         | カナダ         | スイス         |
| 3  | オーストラリア  | ニュージーランド | ニュージーランド    | 日本          | ドイツ         |
| 4  | ニュージーランド | 米国       | 日本          | スウェーデン      | スウェーデン      |
| 5  | フランス     | スイス      | オーストラリア     | ニュージーランド    | カナダ         |
| 6  | イタリア     | 日本       | 米国          | オーストラリア     | ノルウェー       |
| 7  | 日本       | フランス     | スウェーデン      | ドイツ         | 米国          |
| 8  | イギリス     | フィンランド   | フィンランド      | 米国          | オーストラリア     |
| 9  | ドイツ      | イギリス     | フランス        | フィンランド      | デンマーク       |
| 10 | スペイン     | スウェーデン   | イタリア        | ノルウェー       | オーストリア      |

事力や経済力による強制ではなく、魅力的な文化や社会的価値観、政治体制などに他国から共感や支持を得ることによって、国際社会での信頼や発言力を獲得する力のことを指す。

「PDはソフト・パワーを使って、他国の世論の『心と精神を勝ち取るハート』(winning hearts and minds)を目指す戦略なのです」

## 日本のPDは成功!? 好きな国第1位は「日本」

では、日本のPDの現状はどうなっているのだろうか。

2014～15年にかけて米国のブランドコンサルティング会社フューチャーブランドが行った調査「国別ブランド評価ランキング」で、日本は初めて第1位(75カ国中)に輝いた(上図参照)。同調査の回答者が「日本」から連想したのは最先端技術、アニメ、寿司などという。渡辺教授は「経済産業省を中心に展開してきた、いわゆるクール・ジャパン戦略が一定の成果を挙げつつある」と評価しつつも、世界的に見て日本はPDの分野で世界をリードしているとは言い難いと指摘する。

例えば近年、中国もPDに力を入れ、メディアや教育を通じて中国文化を海外に広める活動に国を挙げて取り組んでいる。国際放送の分野では中国の国営通信社・新華社通信は約130の海外総支局に合計600人を超える特派員を擁し、北京の本社スタジオから24時間、世界100カ国に向けて英語による国際放送(CNCワールド)を発信している。一方、日本のNHKの海外総支局数は31、特派員数は70名余りである。

また中国は外国における中国語教育、文化発信にも非常に熱心に取り組んでいる。04年、中国語や中国文化を教える「孔子学院」を初めてソウルに設立して以来、世界各地に次々と進出、10年には世界94カ国に329校を開校している。日本では外務省管轄の国際交流基金(ジャパン・ファウンデーション)が孔子学院に相当する存在だが、同基金の海外拠点は、世界21カ国22拠点にとどまっている。渡辺教授によると「ドイツのゲーテ・インスティテュートやイギリスのブリティッシュ・カウンシルのように国家が海外における自国語の教育を支援する例は珍しくないが、孔子学院の規模の大きさと展開の速さは群を抜いている」という。

また、フランスもPDに力を入れている国として知られる。06年にはCNNやBBCに對抗して「フランス的な価値観を世界に伝える」ための国際放送「フランス24」を開始した。また言語教育においても、海外でフラン

#### ※1 クール・ジャパン戦略

日本政府が「日本文化産業戦略」と称して推進する国際戦略。マンガやアニメ、ファッションといった文化産業の海外進出を推進、日本の魅力を海外に発信することによって経済的・外交的利益を得ることを目指す。





写真：ロイター／アフロ

2013年9月にフランス・パリで開催された「Tokyo Crazy Kawaii Paris」。

や和食といった独自のソフト・パワーをアピールするように、他の国々もまたそれぞれのソフト・パワーを武器にPDを繰り広げているのだ。例えば、韓国はこれまでも韓流ドラマやK・POPなどのグローバル化を推し進めてきたし、14年度からはさらに90億ウォンもの巨額の予算を投じて文化外交に力を入れている。渡辺教授はこの状況について次のように指摘する。

「ゼロサム・ゲーム」(※2) 的な発想で各国がソフト・パワーの競争をしているのが現状です。しかし、これでは国家同士がお互いの文化を否定し合う状況に陥りかねません。互いの文化を認め合い、協調の道を探ることが、

もしも、今後この状況が続けば、現在は世  
 界一と評価される日本のブランド力も、他の  
 国々に追いつかれ追い越される可能性が大い  
 にある。

# 日本の政策目標と PDが抱える課題

「もう1つ注意すべきなのは、クール・ジャパン戦略の成功がPDのゴールだと誤解してはならないということ。PDはあくまでも政策目標を達成するための手段であって、それ

スの文化やフランス語を教えるリアンス・フランセーズとの共同事業に1億ユーロの新規予算を投入、これによってリアンス・フランセーズの拠点は、全世界94カ国の合計143カ所となる見込みだという。ただし、文化の発展や文化戦略を支えるのは、国家予算だけではない。渡辺教授は次のように指摘する。

「下の図表を見ると、各国の文化が国の文化予算と民間からの寄附によって支えられていることがよくわかります。例えば、米国の場合、文化予算は国家予算の0・03%（889億円）にしかすぎませんが、民間から巨額の寄附（GDP全体の1・67%、約20兆4000億円）が寄せられているのがわかります。しかし日本の場合、文化予算は国家予算のわずか0・12%（1018億円）、民間からの寄附（GDP全体の0・13%、6300億円）と、ともに低い水準にとどまっているのです」

もしも、今後この状況が続けば、現在では世

「肝心の政策目標自体が達成されなければ何の意味もありません」

それが日本の抱える国際問題——中国との領海問題や韓国との歴史認識相違の問題などに著しい影響を与えるわけではない。

「総じて日本のPDは具体的な外交目標との  
関連が明確にされない傾向に陥りがちです。  
『日本文化に親しみをもってもらう』、『国家  
ブランドを確立する』という漠然とした目標  
が先行してしまい、どんな政策目標を達成す  
るために、どの国や地域のどんな人々に対し  
てPDを展開するのか、という具体的に明確  
な戦略が伴っていないケースが多く見受けら  
れます」

さらに渡辺教授が懸念するのは、クール・ジャパンという「戦略」だけが独り歩きをしてしまうことだ。

「本来、PDは相互理解、親近感醸成という基層を培った上で、政策広報を展開するという二層構造で行うことが大切です。しかし最近では上層部の政策広報だけに関心が向けられてしまい、その基礎となるべき知的会話や文化交流がなおざりになっている感が否めません」

同時に渡辺教授は、日本でPDを担う人材の育成が遅れていることも指摘する。

「日本にはまだPDを扱う研究機関はもちろ

今後ますます重要になってくるでしょう。特

に近年、歴史認識問題などで緊張関係にある近隣諸国とはゼロサム・ゲーム的な発想を捨て、win-winのポジティブサム・ゲーム的発想に切り替えたPDを展開していくことが大切です。また、相手国の挑発的なPDに過剰反応をしないことも大事です。かえって国益を損なうおそれがあります」

ではポジティブサム・ゲームのプレイヤーであるために、日本のPDには何が必要となるのだろうか。

渡辺教授は「まさしく自国の魅力や意思を発信する力です。そしてその発信力を磨くために必要なのは、逆説的ではありませんが、相手を知ること、理解すること。相手を知らないことには、相手が必要とするものを発信したり提供したりすることができないからです」と分析する。

「もう一つ重要なのは一方的に自国の文化を  
発信しようとするのではなく、同時に相手の  
文化が好きだ、もっと知りたいという意思を  
相手に伝えることです。その好例としては、  
安倍晋三首相が今年４月に米国議会で行った  
演説があります。あの演説で安倍首相は、日  
本にとって米国が大切な国であるというメッ  
セージを米国民に明確に伝えることに成功  
しました」

さらに渡辺教授が注目するのは日本のPDのポテンシャルだ。

「日本は、漫画やアニメだけでなく、医療や



写真：UPI／アフロ

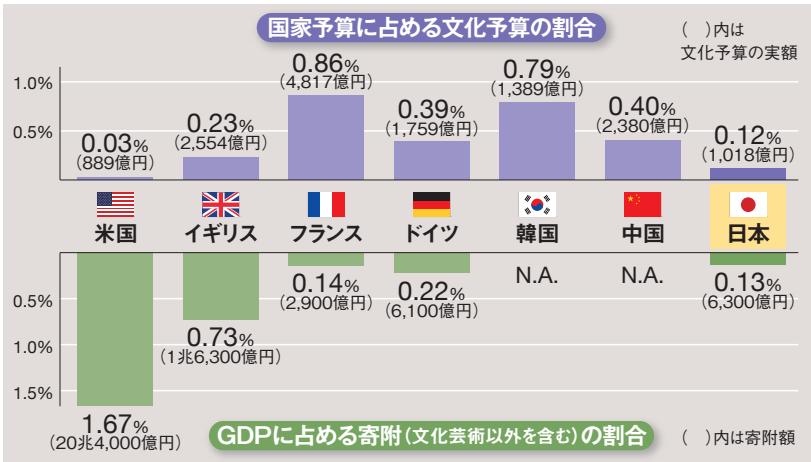
2015年4月、日本の首相として約54年ぶりに米国議会で演説をした安倍首相。随所に米国を称賛する言葉をちりばめた。

福祉、災害復旧など世界の国々とシェアできる素晴らしいノウハウや経験を有しています。これらをうまくPDに活用できれば、日本はソフト・パワーのゼロサム・ゲームから脱却し、世界から認められ、信頼される国家としてあり続けることができるのではないでしょうか」

取材・文／相山華子

渡辺靖(わたなべ・やすし)  
1967年生まれ。1997年ハーバード大学MPO(社会人  
類型)。オックスフォード大学シニア・アソシエイト、ケンブ  
リッジ大学フェローなどを経て、1999年から慶應義塾大学  
環境情報学部助教授。2005年から教授。専門はアメリカ研  
究、文化政策論。2004年度日本学士院学術奨励賞受賞。著  
書に『文化と外交』(2011年、中公新書)などがある。

出所：文化庁調べ



ん、PDを体系的に学べる大学ありません。将来、日本がPDをより積極的に展開する上で、人材の育成は喫緊の課題といえるでしょう」

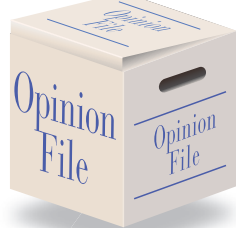
ゼロサムゲームでなく  
ポジティブサムゲーム  
を目指せ

日本がPDに取り組む上で無視できないのが他国のPDとの競合である。日本がアニメ

## ※2 ゼロサム・ゲーム

参加者の得点と失点の総和（サム）が0（ゼロ）になるゲーム、つまり対戦者同士が一定の得点を争い合うゲームのこと。





# 日本料理の神髄を世界へ



村田 吉弘

「菊乃井」主人

## 渡仏して気付いた 日本料理の価値

単身フランスへ渡ったのは、村田吉弘さんが20歳の時。まだ大学へ通う学生だった。「本場でフランス料理を学びたい、と言えは聞こえはいいいですが、ほとんど親への反発からです。大学を卒業して家業を継ぐだけではない、自分の将来の可能性を探っていたのです」

実家は京都・祇園にある老舗料亭「菊乃井」。経営手腕に長けた祖父と根っからの料理人だった父の築いた名店中の名店である。家そのものは村田吉弘さんで22代目という名家でもあり、長男が跡を継ぐのは当然のことだった。「1日10フラン（当時の為替レートで1フラン＝65円前後）のパリのアパートの屋根裏部屋に住んで、食事はソルボンヌ大学（※1）の学食にもぐりこみ、節約しながら週1回、レ

ストランを食べ歩く生活をしていました」どのレストランにもあったのは、鴨のオレンジソース。フルーツはデザートに使うものという、当時の村田さんの固定概念を覆す一品だった。

「半信半疑で食べてみたら、とても美味しかった。このままではだめだ。欧州中を回ったら、どれだけ知らないことがあるのだろうと居ても立ってもいられなくなって、バックパック1つで様々な国々を巡り歩いたんです」

海の間こうはアフリカ大陸というスペインのマラガから北欧諸国、ギリシャの島々やアジアと欧州の境界にあるトルコまで、行く先々で口にした料理は刺激と発見の連続だった。しかし同時に、海外における日本料理の扱いも目の当たりにすることになった。

「ちよつと田舎へ行ったら、もはや日本という国がどこにあるのかさえも認識されていない時代でした。欧州の人々にとって、日本料



京都東山区にある「菊乃井」本店。

写真提供：菊乃井

理は見知らぬ極東のエスニック。焼き飯や野菜炒めなどの中華料理が日本料理と思われていたくらいです」

老舗料亭に生まれたサラブレッドが初めて味わう屈辱感の中で、皮肉にもこれが日本料理を見つめ直すきっかけとなった。その結果、幼い頃から身近にあった日本料理の文化的クオリティは、どの国の料理にも負けていないどころか、間違いなく世界に誇れる料理であることに思い至ったという。

かくして、はるばる欧州までやって来た村田青年は、各地で日本料理の素晴らしさを熱弁した末、半年を経て帰国の途に就いた。胸の奥底に「一生を懸けて日本料理を世界に広げる」という大きな志を抱いて……。

## 日本料理の神髄は 出汁の「旨味」にあり

日本料理界を40年以上にわたって牽引し、2013年12月には念願だった和食のユネスコ無形文化遺産登録にも大きく貢献した村田さん。日本料理界の重鎮が考える日本料理の優れた点はまず「メッセージ性」だ。

「日本には四季があり、山紫水明が育む肥よ



菊乃井3代目主人の村田吉弘さん。伝統の継承とは「新しいことをやり続けること」と話す。

くな土壌があります。そこでは農作物がよく育ち、さらに世界でも珍しい4海流が交わる海には3000種ともいわれる魚種がいる。それらをコース料理にして出す懐石には四季の情感や祭事のしつらえ、地域性などが盛り込まれています。いわばつくり手のメッセー

理なのです」  
コースで出される料理の形態は、日本料理以外ではフランス料理、イタリア料理、ロシア料理くらいしかないと言います。中でも日本料理は食べ手に向けたメッセージ性に富んでいるという。  
2点目に挙げるのは「ヘルシーさ」。低カロリー、高たんぱくな和食は身体に良いとされ、特に飽食による肥満や病気が深刻な問題になっている先進国では空前の人気となっている。実際、欧州の料理と比較すると、日本の懐石料理は60品目で約1000キロカロリー、対するフランス料理は23品目で約2500キロカロリーにも及ぶそうだ。  
そして3点目が出汁に含まれる「旨味」。今や海外でも「UMAMI」と呼ばれ、世界中の名だたる料理人からも熱い視線が注がれている。日本語がそのまま世界の共通語となっているが、村田さんはこの旨味こそ日本料理の神髄だと言い切る。  
「世界の料理が油脂中心で構成されているのに対し、唯一、旨味成分で構成されているのが日本料理です。また旨味成分は淡白な食材に複雑性を持たせることができるので、そのまま食べ続ければ飽きてしまうはずの野菜も飽きずにおいしくいただくことができます。味覚に関しても諸外国では甘味・塩味・酸味・苦味の4つが基本ですが、日本には旨味を含む5つの味覚がある。旨味の素は昆布とカツオ節から取る出汁ですね。昆布からはアミノ

※1 ソルボンヌ大学

正式には「パリ大学」。現在13校ある中の第1、3、4大学が通称ソルボンヌと呼ばれる。



菊乃井の厨房。日本料理の良さを守りながら、常に創意工夫がなされている。



写真提供：菊乃井

日本料理を立派な大木にすることはできません。枝葉の剪定は幹が太くなってからでいいと思います」

他方、国内における和食の維持継承も、実は大きな課題。料理人を目指す若者は増えているものの、その多くはイタリア料理のコツ

なアミューズを出してくる。彼らはもともと論理的にメニューを構成する能力に長けていますが、フランス料理の本質も日本料理の本質も変えずに見事にアレンジしています」

村田さんによれば、今、世界には約5万6000軒の日本料理を名乗る店があり、そのうちの9割以上は日本人以外の経営によるものだという。海外の和食人気を示す数字ではあるが、その中身は「日本料理」とかけ離れている実態もあり、日本の料理人の中にはそうした事態を憂う声もあるという。

「あの、なんちゃって和食」を何とかしなければという考え方もありますが、日本料理は今、ようやく苗木になったところ。不要な葉っぱや枝をいっぱい出しています。しかし最初から、あの葉っぱはいらない、この枝は切ってしまうとやりやす」と

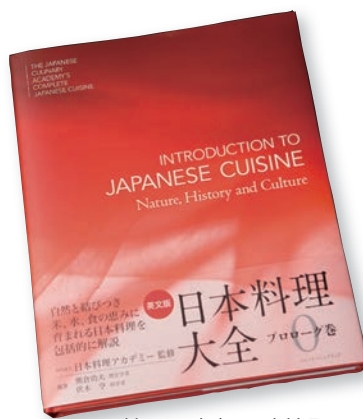


世界の食通をうならせる要因となっており、革新的な世界の料理人たちはこぞって旨味と和のエッセンスを取り入れ、自国の料理にアレンジを加えて新風を巻き起こしているという。その顔ぶれには、世界ナンバーワンの呼び声高いデンマーク・コペンハーゲンにある「Noma」(※2)のレネ・レセップ氏、パリの「Astrance」(※3)のパスカル・バルボ氏、そしてロンドンにある「Fat Duck」(※4)のヘストン・ブルメンタール氏ら、今をとさめくスターシェフがずらり。皆、日本にきて日本料理を学び旨味に目覚めた、村田さんの可愛い教え子たちである。

## 自国の価値ある物を認めて「日本人指数」を上げるべし

日本料理を世界に広げることを使命に、国内外で精力的な普及活動が続ける村田さん。その背骨には、日本料理をわかりやすい形で正しく伝えるという信念がある。

「フランスにはエスコフィエのフランス料理の手引き(※5)が、中華料理には中華料理大全があり世界中で読まれています。しかし日本料理にはその手の教本がありません。そこで私の主宰する日本料理アカデミー(※6)で



村田さん主宰の日本料理アカデミーで編集された日本料理の手引き書。英語版、イタリア語版、日本語版が出版予定。

『日本料理大全』をつくり、『ひと口大』や『さつと湯がく』などのあいまいな表現を分量や温度、時間に数値化したほか、『幽玄』や『わびさび』といった日本特有の概念も伝えています」

工夫なくして普及なし。そのためのシステムづくりも不可欠だと村田さんは考える。無形文化遺産登録もその一環と位置づけ、和食文化の維持継承を世界に約束できたことで、他国のシェフの研修を担う日本料理アカデミーや、彼らが2年間有給で働ける京都市の労働特区の設置、京都府立大学をはじめとする複数の大学には日本料理の専門学部も発足した。村田さん自身が講師を務めるほか、農林水産省が京都大学との連携で進める日本料理の普及プロジェクトにも加わり、欧州と日本を行き来している。

「パリでもロンドンでも、フランス料理と日本料理は枠を超えつつあります。バルボ氏の店でも『出汁のカプチーノ』というユニーク

クやパティシエを目指し、日本料理の板前は敬遠されがちだという。修業に長い年月がかかることや、厳しい師弟関係を嫌う傾向にあるためだ。

「そう考えると、和食が無形文化遺産に登録されたと喜んでいる場合ではありません。遺産登録されたということは絶滅危惧種に認定されたということ。それぐらいの危機意識を持って変えるべきところは変え、残すべきものは残していかなければ、放っておいたら減びてしまうのです」

料理に限らず、日本の伝統産業や安全で美味しい農産物なども宝の山だという村田さん。だが、その価値に気付いていない日本人が多いともいう。

「もつと自国の良いものを認めて、日本人指数を上げていかなければ、世界に打って出ていく仕組みはつくれません。食を通じてできること、やるべきことはまだたくさんあります」

取材・文／高橋ミナ 写真／吉田敬

村田 吉弘(むらた よしひろ)

1951年、京都・祇園の老舗料亭「菊乃井」の長男として生まれる。立命館大学在学中にフランス料理修業のためパリへ。大学を卒業後、名古屋の料亭「加茂免」で修業。1976年、実家へ戻り「菊乃井木屋町店」を開店。1993年、3代目菊乃井主人となり、自身のライフワークである「日本料理を世界に広げる」ため柔軟な発想で和食文化を世界に発信し続ける。2004年「赤坂菊乃井」開店。同年、NPO法人日本料理アカデミー理事長就任。シンガポールエアラインの機内食も監修。稲盛和夫氏主宰の経営塾「盛和塾」1期生でもある。

### ※6 日本料理アカデミー

村田吉弘氏が2004年8月に京都で設立。世界の料理人との交流や若い日本料理人の育成、食育事業などに取り組む。

### ※5 フランス料理の手引き

フランス料理を体系化したレシピ集。著者のオーギュスト・エスコフィエ氏はフランス料理の現代化に大きく貢献した。

### ※4 Fat Duck(ファット・ダック)

物理的、化学的に料理を捉えたモラキュラー料理を提供。シェフのブルメンタール氏は同分野における3大シェフの一人。

### ※3 Astrance(アストランス)

パリ16区にある予約を取るのが難しい3つ星レストラン。オーナーはシェフのバルボ氏とメートル・ドテル(給仕長)のクリストフ・ロア氏。

### ※2 Noma(ノーマ)

英国『Restaurant』誌が発表する「世界のベスト・レストラン50」で4年連続首位に選ばれた超人気店。地産地消を謳う独創的な北欧料理で知られる。



# 賢人の意思を継ぐ 豊かな海の町を歩く

～広島県竹原市と竹原火力発電所を訪ねて～



瀬戸内海に面した J-POWER 竹原火力発電所。

米が無理ならば  
塩をつくればいい

「エデンの海」と呼ばれるパーキング広場の展望台から、瀬戸内海を眺める。

視線の先に見えるのは水平線ではなく、いくつもの小さな島々で、遠くに霞んでいるのは対岸の愛媛の山の連なり。柔らかな日差しに照らされた穏やかな海を前にすると、冒険心とはまた違うさざ波のような興奮が胸の中に湧き上がってくる。

すぐ目先の島になら、泳いでもいけないのではないか。もしかすると、四国にだって、自力でたどりつけるかもしれない。手を伸ばせば、この場所以外のどこかに届く——そんな感覚だろうか。

かつてこの地は、塩気が強く米の耕作ができなかったという。

なら、海水から塩をつくれればいい」と追い風に変えた賢人たちがいた。

この地で暮らす人々にとって、瀬戸内海は、外の世界に繋がる場所。今も昔も、豊潤な恵みをもたらし、刺激を運んでくる大切な海なのだと感じる。

## 江戸情緒溢れる 安芸の小京都

海岸線から車で15分ほど走り、向かった先は「町並み保存地区」。

ここは江戸時代後期に製塩業で成功した町人たちの屋敷が立ち並ぶ「安芸の小京都」とも呼ばれる場所。メインストリートの本町通りを歩けば漆喰の壁、棒瓦の屋根、凝った意匠がほどこされた竹原格子——。玄関先に飾られた竹の花器には、色鮮やかな花が生けられ、家屋の前を流れる用水路は、竹の囲いで覆われている。

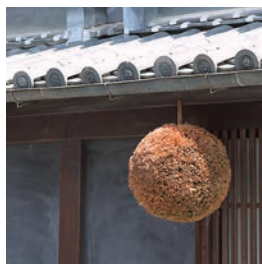
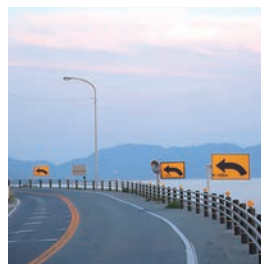
江戸の風情や竹の情緒を楽しみながら一軒一軒を眺めて歩くと、帰る時間を忘れてしまいそうだ。

ふと住居が途切れ、奥まった場所に、山の中腹へと続く長い石段が目に入った。

あの石段は、どこへ続くのだろう。

瀬戸内海に臨み、江戸時代後期には製塩業や酒造業で栄えた広島県竹原市。多くの学者や文人を輩出したこの歴史ある地に、J-POWER竹原火力発電所がある。「安芸の小京都」とよばれる町を散策した。

作家 藤岡陽子／写真家 かくたみほ



藤岡陽子（ふじおか・ようこ）  
報知新聞社にスポーツ記者として勤務した後、タンザニアに留学。帰国後、看護師資格を取得。2009年「いつまでも白い羽根」で作家に。最新作は『闇から届く命』。その他の著書に『海路』『トライアウト』『ボイッスル』がある。京都在住。





竹原市歴史民俗資料館。訪れた4月には、竹鶴政孝氏とリタ夫人の写真などが展示されていた。



頼山陽の祖父、頼惟清が紺屋を営んでいた町家。



西方寺の観音堂である普明閣。境内や舞台から竹原の町並みが一望できる。

1 西方寺に続く長い石段。2 頼惟清邸の奥の庭。3 漆喰仕上げのなまこ壁が美しい。4 町家の玄関先には、様々な趣の竹の花器が目を惹かせてくれる。5 家屋の周りを流れる用水路を、竹の囲いが覆っている。6 町家に見られる格子。そのデザインは、軒・軒違つており、凝った意匠を凝らしている。7 夜の本町通り。この日の営業を終えた竹鶴酒造の風情ある佇まい。8 竹原にはその名の通り、美しい竹林が見られる。

竹鶴酒造といえば、ニッカウキスキーの創始者である「マッサン」と竹鶴政孝氏の生家としても知られるが、築260年の店構えは、たしかに歴史の重みを感じさせる。「今の時期、酒づくりは終わっているんですけど」

### マッサンの魂が深い味わい生む

創業1733年の老舗、竹鶴酒造もまた、この本町通りに店を構える。235年前に生まれた賢人を想い、目を閉じれば、竹の葉がそよぐサラサラという音やうぐいすの声。この静かな日本家屋で頼山陽の思想が育まれたのかと思うと感慨深い。頬に触れていく風が心地良かった。

が本町通りにあるというので訪ねてみた。

頼山陽が尊王攘夷論を記した主著『日本外史』は、後に坂本龍馬や吉田松陰の心を動かし、そして日本を変えていく。

頼山陽の祖父、頼惟清の住居

製塩業によって栄えた竹原は、偉大な学者も多く生み出した。日本を代表する儒学者の頼山陽も、この地に縁のあるひとりだといふ。

### 儒学者・頼山陽の思想が育まれた町

息を弾ませ、さらに奥へと進めば、濃い緋色をした寺の境内、普明閣にたどり着く。京都の清水寺を模してつくられたとされるこの観音堂からの眺望は、いったいどんなものだろう。

そんな想いを残したまま、またゆつくりと石段を下っていく。石段を上りきった場所、西方寺の正門から町を見下ろすと、屋根瓦が美しく連なり、広がっていた。

風に吹かれるもみじの若葉や、紋黄チョウの揺らめきに誘われるようにして、石段を上がついていく。1段上るごとに、見える景色が変わっていく。



8



7



6



5



4



3



2



1





2



3



1



5



6



4

1 町並み保存地区にある竹鶴酒造。日本のウイスキーの父」と呼ばれる竹鶴政孝氏の生家でもある。2 木桶での酒づくりについて説明して下さる竹鶴敏夫さん。木桶は昭和10年につくられたものを再生して使用している。3 夏に出荷する「生酛純米」の瓶詰め作業の様子。4 ジャムをテーマにした体験施設「アヲハタジャムデッキ」。5 ジャムづくりをチャレンジする筆者。6 ジャムづくり体験では200g入りの瓶を4本、持ち帰ることができる。体験料は1人800円、要予約。

と、蔵の中を案内してくださったのは、14代目当主の竹鶴敏夫さん。蔵の中では職人さんたちが「生酛純米」という名の酒を、瓶詰めしているところに出会った。

「この酒は生酛づくりでつくられたものです。もともとは戦前の——そう、マッサンの生きていた時代の手法ですが、うちが生酛づくりを復活させたのは、平成16年からなんです。こちらの酛場で第一段階の酵母づくりをしています」

そう言う敏夫さんが見せてくださったのは、蔵の2階にある剣道場のような広い部屋。杉の木を張った床に木の桶が並び、この場所で酵母菌を培養し、育て、増殖させているという。木の桶は半切とよばれ、この中に米を入れて櫂棒で潰すのだが、その作業には多大な手間と労力を要す。これが生酛づくりだ。

「化学的な手法だと約2週間ですむところを、この手法を用いて酵母を増やすと1カ月はかかります」

一般的な酒は「速醸酛」といわれ、乳酸を人工的に添加する。だが生酛づくりは、自然界に在る乳酸菌を取り込み生酸させるので、醸すのに時間がかかるのだ。



標高266mの黒滝山。頂上からは、忠海の町や瀬戸内の島々を一望できる。

この手法を取り入れた理由を敏夫さんは「省略するとアイデアが浮かばない。原理を知って、新しいものをつくり出すという発想です」と語る。

生酛づくりで仕上がった酒は酵母の力が強いので、長期の発酵にも耐えられる。そのおかげで、独特の深みのある酒になっていく。兵庫県西宮、灘の技術を学ぶ機会を得ての、試みだったという。

「竹鶴の家系は、昔から発展的な物の考え方をする人が多かったみたいですよ。マッサンもそうでしたしね」と、14代目は笑うが、その気概は現在も脈々と受け継がれる。

敏夫さんにお礼と別れを告げ、「今夜、竹鶴のお酒を飲んでみます」と振り返った店の軒下には、新酒ができあがったことを客人に告げる「杉玉」が吊り下げられていた。

## ジャムの聖地で 感動手づくり体験

忠海にある「アヲハタジャムデッキ」では、工場見学やジャムづくりの体験をさせていただいた。

瑞々しいオレンジの果皮と砂糖を鍋に入れ、甘い香りを楽しみながら

じっくりと火にかける。

煮つめている間、同社の田中道彦さんに、社の成り立ちを教えていただき、もともと親しみのある「アヲハタジャム」ではあったけれど、さらにその背景にあるロマンを知った。

「創始者の中島董一郎は、英国でオレンジマーレードの美味しさに触れ、日本での製造に挑戦したそうです」中島氏は、青年時代に缶詰技術と販売方法を欧米で学び、その際にオレンジマーレードの美味しさに衝撃を受けたという。そして昭和7年、柑橘類の最優良産地としての土地を選び、みかんの缶詰やオレンジマーレードの製造を始めた。

今やアヲハタブランドは、家庭用ビン詰めジャム市場の約50%を占める。低糖度ジャムとしては、実に約70%のシェアを誇るが、そのスタートには1人の若者の純粋な情熱があった。

手づくりオレンジマーレードのでき栄えに感動しながら、ジャムデッキを後にする。コバルトブルーのジャムデッキのすぐ目の前は海、そして広がる青い空。

竹原の穏やかな風土と賢人たちの情熱に、力をもらう旅になった。



# 竹原火力発電所

所在地：広島県竹原市忠海長浜  
発電所出力：合計 1,300,000kW  
運転開始：1967年7月（1号機）  
1974年6月（2号機）  
1983年3月（3号機）

取材日：2015年4月21～23日

石炭船の船着き場、揚炭栈橋から眺めた竹原火力発電所。

## 東京五輪イヤーに 最新鋭設備が稼働

竹原火力発電所は、石炭を燃料にして発電を行う石炭火力発電所である。3台ある発電機のうち、1号機は1967年に、2号機は1974年に、3号機は1983年に運転を開始。3台の合計出力は130万kWとなり、高度経済成長時代の電力需要アップを支えながら増設されてきた。

私が訪れたこの日は、屋内貯炭場といって、石炭輸送船によって運ばれてきた石炭を貯蔵しておく場所を見学させていただいた。

「ここは3号機の貯炭場です。満杯にするとおよそ15万トンの石炭が入りますかね。15万トンといえば、70万kWの電力を約1カ月出力する燃料にあたります」

と説明してくださるのは、森田健次所長。貯炭場の内部は甲子園球場のグラウンドがすっぽりおさまるサイズとのことで、巨大なすり鉢の底にこのような心地になる。

貯炭場に集められた石炭はこの後微粉炭機で細かく砕かれ、ボイラで燃焼される。約1200℃の高温で

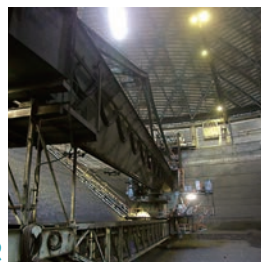
燃えさかるボイラの中をガラス窓越しに眺めながら、火力発電の仕組みを学ぶことができた。

日本のエネルギー事情に合わせて電力の供給を担ってきたこの発電所であるが、今もまた、最新鋭設備への更新に着手したという。

「1号機、2号機ともに運転開始から40年以上経過していることを踏まえ、両機をより性能の高い新1号機に更新する予定です。最新鋭の設備が導入されることにより、発電効率並びに環境性能が大幅に向上します」

防音や遮水など周辺の環境に配慮しながら、建設工事が昨年からはまっているのだと森田所長が話す。新1号機が実際に稼働するのは、東京オリンピック開催の2020年の予定だという。その頃もう一度、この場所に立ってみたい。

**1** Jパワー竹原火力発電所および竹原火力新1号機建設所の事務所入口。**2** 3号機内貯炭場の内部。貯炭場から3号機へ1日6000トンもの石炭が運ばれる。**3** ボイラ内部を見学する筆者。耐熱ガラス窓の向こうは約1200℃の世界。**4** 3号機蒸気タービン・発電機。**5** 中央制御室内では、24時間体制で所内の様子を監視している。**6** 3号機の電気集じん器。**7** 3号機の排煙脱硫装置。**8** 新1号機建設のための敷地造成工事の様子。





「無事に大会当日を迎えられて、喜びもひとしおです」  
そう安堵する高砂火力発電所の田代和幸所長によれば、今年度は会場を、昨年まで使用していたグラウンドから、市制60周年を迎えた高砂市の総合運動場へ変更。会場が前回と比べて広くなったことに加え、主管チームの荒井フットボールクラブ（FC）の声かけでエントリも増え、結果的に大会はパワーアップした。「これも多くの皆さんの熱意のおかげ」と田代所長。開会式には登幸人高砂市長も駆けつけた。

試合は午前9時にキックオフ。U-12は4ブロック、U-8は2ブロックに分かれて予選リーグを行い、サブグラウンドのイベントブースでは、所員考案のユニークなボールゲームに子どもたちが夢中になった。

白熱の決勝戦後は互いの健闘を称え合う

午後4時過ぎに始まった決勝戦は、U-12がFC玉津と柏原キッズFC、U-8は大塩SCと新多聞SCという顔合わせで、U-12は柏原キッズFCが、U-8はPK戦にもつれこんだ末、サドネスを制した大塩SCがともに初優勝。選手たちはチームメイトと喜びを分かち合うとともに、相手チームと健闘を称え合った。

「全選手が出場できるいい大会。企業を身近に感じることもできます」とは荒井FCの山本達也ヘッドコーチ。発電所員の高橋尚登サッカー部代表も、「子どもたちに元気をもらいました」と地域交流の良さを語った。

1 サッカーが大好きな子どもたち。仲間とのチームワークも抜群だ。2 イベントブースにはサッカーボールやバスケットボールなどを使う多彩なチャレンジゲームが……。3 毎年引き継がれる優勝カップ。4 閉会式では田代所長から活躍を称える表彰状が授与された。5 元サッカー選手・監督の松木安太郎氏によるサッカー教室も開催。子どもたちは目を輝かせていた。



J-POWER 高砂火力発電所 田代和幸所長  
高砂火力発電所サッカー部 高橋尚登代表  
主管チーム荒井FC 山本達也ヘッドコーチ

## サッカーを通じて高め合う 豊かな心とチームワーク

少年サッカー大会「第14回J-POWER CUP」を開催して  
J-POWER 高砂火力発電所

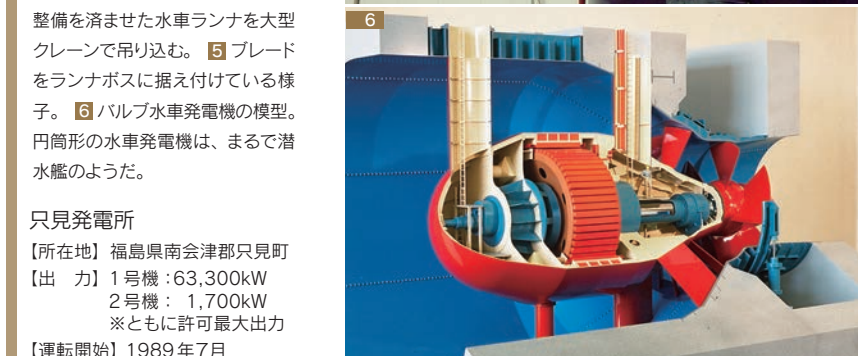
取材・文／高樹 ミナ 写真／斎藤 泉

夢中でボールを追いかける子どもたち。ピッチのあちこちから聞こえてくる元気なかけ声――。

去る3月28日、高砂市総合運動場（兵庫県高砂市）で少年サッカー大会「第14回J-POWER CUP」が開催され、同市と周辺地域から計18チーム、約270人の少年少女が参加。快晴の下、天然芝2面を含む3コートを舞台に、6年生以下の部（U-12）12チームと2年生以下の部（U-8）6チームに分かれて激戦を繰り広げた。

同大会は21世紀を担う子どもたちが、サッカーを通じて「思いやり」「感謝の気持ち」「仲間意識」の大切さを学び、競技技術の向上と豊かな心を育む好機となるよう、J-POWERが2001年から毎年開催しているもので、高砂火力発電所の所員やサッカー部員らが主催者として大会を運営。地元サッカーチームとも協働し、地域交流を深めている。特に今年はU-8の新設や会場規模の拡大などがあり、例年以上の盛り上がりを見せた。





1 水車ランナの据え付けを待つ発電機本体。黒い軸の後方に回転子が収まっている。2 発電機を制御する油圧装置の細密点検も並行して行われていた。3 ステンレス鋼製のブレード（羽根）は1枚あたり7.8トン。この羽根の角度を自動制御しながら、最も発電効率のよい角度を得る仕組みだ。4 点検・整備を済ませた水車ランナを大型クレーンで吊り込む。5 ブレードをランナボスに据え付けている様子。6 バルブ水車発電機の模型。円筒形の水車発電機は、まるで潜水艦のようだ。

只見発電所  
【所在地】福島県南会津郡只見町  
【出力】1号機：63,300kW  
2号機：1,700kW  
※ともに許可最大出力  
【運転開始】1989年7月

直径7.5mの筒状で全長約20mの水車発電機は、ちょうど潜水艦のような形。スクリューにあたる先端の巨大な5枚のブレード（羽根）で水流をとらえ、回転子を回して電気を起こす。6万5800kWという1号機の最大出力は、横軸円筒形水車（バルブ水車）では世界有数の大きさだ。

運転開始から25年余の只見発電所でオーバーホールを行うのは今回が2度目。たとえ稼働状況に異常は見られなくても、個々の部品や機械装置は経年劣化が避けられないため、運転を一定期間停め、水車発電機全体を分解して徹底的な点検・整備を施す。人間にたとえるなら、定期健診に検査入院をつけ足す入念さといえようか。

右の写真は、クレーンに吊り上げられた水車ランナ可動機構部（ランナボス）である。水車軸から取り外され、遠方の製造工場で補修されて、今朝ここへ帰還したばかり。横向きに空いた5つの穴にブレードをはめれば、冒頭に述べた水車ランナが復元される。扇風機そっくりなこの部品だけで、約100トンもあるそうだ。

J-POWERの全国60カ所の水力発電所では、このオーバーホールを定期的に順次実施している。現場を担うのは、巨大かつ精巧な発電システムを隅々まで熟知した専門の職員たちと、日頃の運転状況から設備の不具合を予見し、部品の摩耗などを察知できる常駐の職員たち。彼らが専門医となつて発電所の「健康維持」に万全を尽くしている。

取材・文／内田孝 写真／斎藤泉



エネルギー  
保守の現場

## オーバーホールで“健康体”をキープ。

J-POWER 只見発電所

巨大かつ精緻な水車や発電機は、水力発電システムの心臓部。それを停めて点検・補修する現場に職員たちの闘志がみなぎる。

■15年ぶりに分解・補修された水車ランナ可動機構部（ランナボス）。ここに5枚のブレード（羽根）を装着し、発電機本体へ戻す。



# 世界最軽量・最薄の布で ファッション界に革命を。



透明感があり、  
風にもやさしくなびく  
世界一薄くて軽い布「天女の羽衣」。  
ミラノやパリの超一流メゾンや  
パリコレにも採用されているこの布、  
通常の織り方では糸が切れてしまい織れないのだという。  
この織りの技術で世界中から注目を浴びる機屋が、  
天池合織株式会社だ。

世界一薄く、軽い布「天女の羽衣」。  
水面のような光沢と透明感が特徴だ。

米国出身。1994年、鬼太鼓座（おんでこざ）に入団。日本政府より和太鼓アーティストとして芸術ビザを取得。2005年、東京国際和太鼓コンテストにて大太鼓部門最優秀賞を受賞。現在、和太鼓アンサンブルTOKARA（トカラ）を運営。長野県在住。

和太鼓アーティスト

## アート・リー

心の奥底に鳴り響く和太鼓は  
世界から注目される妙なる芸術

「和太鼓は、日本の素晴らしい文化です。日本の方々は、もともと誇りに思い、応援してほしいと思います」  
和太鼓アーティスト アート・リーさんの言葉には、和太鼓への情熱がほとばしる。  
「米国で初めて和太鼓の演奏を聞いた時、本当に感動しました。それまで聞いたことのない音色と、アンサンブルのように多彩な音が広がる演奏に心を

奪われたのです」  
腹の底に沈み込む深い音、心を駆り立てる高い音、さざ波のような残響など……。打ち方によって、様々な表現ができる和太鼓の音色は、世界の打楽器の中でも、特にオリジナルの魅力に溢れているという。  
和太鼓に魅せられたリーさんはプロの和太鼓アーティストとなり、現在、日本各地のほか、米国、カナダ、欧州、アジアにて、コンサートや指導を行っている。

「和太鼓は米国で人気でしたが、最近では、欧州でもかなり注目されています。コンサートでは、お客さまは1曲目から大興奮。盛大な拍手や掛け声は、演奏者がビックリするほどです。和太鼓がすっかり気に入って、同じ公演を3回続けて観るくらい、熱心なお客さまもいます。日本のお客さまも、もっとコンサートに足を運んでいただけたら、うれしいです」  
今後は、アフリカでコンサートを開催したいというリーさん。ダンスやオーケストラとのコラボレーションに

もさらに力を注ぎたいと語る。  
「和太鼓は、喜び、怒り、哀しみなど、人生のすべてを表現できます。その独特の音色をぜひ多くの人に知ってもらいたいと思います」  
リーさんの願いは、和太鼓の演奏を通じて、国と国、文化と文化をつなぐ懸け橋となること。文化の差異を超えて人の心を揺さぶる和太鼓は、日本への強い興味と憧れをきつと掻き立てるに違いない。

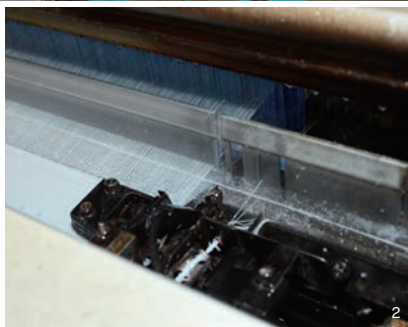


独自の音楽観と創造性豊かな楽曲が魅力。時に力強く、時に繊細に、絶妙なパフォーマンスを披露する。





1. アウトドア用衣料素材の製織の様子（天女の羽衣の製造工程は非公開）。
2. 水でヨコ糸を飛ばすウォータージェット式織機。
3. 農業用ネットを織る機械。
4. 10,000本以上のタテ糸をセットする社員。手作業でしかできないノウハウがあるという。



天池合織株式会社  
代表取締役社長 天池源受さん

2014年度の「グッドデザイン・未来づくりデザイン賞」を受賞。

## 産業資材からファッションへ 起死回生の販路探し

天池合織株式会社（あまいけこうし）の「天女の羽衣」は、直径が髪の毛の約5分の1ほどの超極細のポリエステル糸からつくられる同社の看板商品である。この天女の羽衣が欧州の一流ファッションブランドに採用され、その名を世界に轟かせている。

同社代表取締役社長の天池源受さんに天女の羽衣が生まれた経緯についてお話を伺った。現在はファッション用衣料素材として生産しているこの天女の羽衣、もともとはプラズマテレビに使用される電磁波シールドとして開発されたものだ。

2001年頃、7デニール（※）の糸が天池合織に持ち込まれた。大手原糸メーカーが3年かけてもつくることができなかった布を、

同社で織ることはできないかという依頼だった。天池合織はこれを1年ほどで織り上げ、布を完成させた。ちょうど薄型テレビが登場し、爆発的に売れ始めた時期だ。

2003年、工場の拡張や設備導入を決め、量産体制に入ったが、半年後に悲劇が起こる。プラズマテレビの価格が半値以下に下がってしまったのだ。2004年、発注先の原糸メーカーは経営不振に陥り、生産計画は白紙となった。

このままでは会社が立ちゆかなくなる。なんとかこの布の販路を探さなければと、天池さんは自ら販売することを決意した。

「世界一軽く薄い布」として、国内の展示会に出品するが評価は芳しくない。言われることは「薄すぎて縫うことができないのではなか」といったネガティブなことばかり。ところが、2007年、ジェトロ（独立行政法人日本貿易振興機構）を通じて、海外の展示会への出展を打診される。

## 欧州の一流ブランドが 職人の技を認めた

初めて参加したミラノの展示会への訪問客は2日間で6社だけ。だが、その中に有名ブランドのバイヤーがいた。サンプルを送ると採用の知らせが来た。

2010年に訪問したパリの展示会では、会場近くにあるオペラ座の衣装デザイナーから「興味がある」との知らせが届く。天池さんは、サンプルを持ってオペラ座に駆けつけ、舞台衣装に使ってみたいという好意的な返事

を得る。

水面のような光沢と透明感を持つ天女の羽衣は、プリマドンナがまとうにふさわしく、また周りの空気の流れや光も表現できると好評を得た。衣装デザイナーは「アマイケの布のおかげ」とまで言ってくれた。

他社では糸が切れてしまい織れない布が、なぜ天池合織では織れたのか。その秘密は織機にあった。1980年代、同社に導入された当時最新の織機には不具合があり、本来の性能がでなかった。通常ならメーカーに修理を依頼するところだが、天池さんは自分で部品をつくり直し、本来の性能を引き出すことに成功。そればかりか、その部品を自分たちでカスタマイズし、一般の織機では織れない多様な布を織ることができるようになったのだという。機械メーカーだけに頼らず、自分たちで機械を使いこなし、それ以上の性能を引き出してしまふ。まさに職人ならではの道具に対するこだわりが不可能を可能にした。

日本の基幹産業だった繊維産業は東南アジアの安い労働力に太刀打ちできず、規模が縮小してきた。そうした中、天池合織はこの織りの技術によって、通常の織機では難しい農業用ネット、粘着テープなど、産業用資材に対応することで生き残ってきたのだ。

## 次々に生み出す新製品 品種は1000種類以上に

欧米で評価が高まり、次々と注文が入り始める。時には大量の注文に対応する染色工場

を探さねばならなかった。

ところがここでも問題が起きる。染色の歩留まりが悪いのである。布の端がめくれてしまい、そこを切り落とさなければ商品にならない。だが、染色工場で作業を見ていて天池さんは思った。

「染色機械の部品も自分でつくり変えれば、もっとうまくいくのではないか」

まさに職人気質である。自社で染色機械を購入。布を支える治具をつくると、歩留まりは格段によくなった。さらに縫製機も購入し、縫製のノウハウも開発した。同社では天女の羽衣を使用したスカーフを自社でつくり、国内の有名百貨店で販売している。

だが、これだけ世界的な評価が高まっても安穩とはしていられないのだという。

「ファッションの業界は、6カ月サイクルで新製品を発表しますから、常に新製品を提案することを求められているのです」

ポリエステル糸の糸だけでなく、絹、ステンレスなどの糸と組み合わせたり、途中から糸の種類を変えてみるなど、新しい試みを次々に行い、製品数は1000種類を超え、欧州で60社以上のブランドと直接取引を行うようになった。

「どんな糸でも織ることができる」天池合織のチャレンジはこれからも続いていく。

### 天池合織株式会社

石川県七尾市にある製織企業。服地のほか、農業資材、産業資材の製造も。天女の羽衣については企画デザイン、製織、染色、縫製、販売までを行う。従業員数41名。  
<https://amake.jp/>



左・石川県の伝統工芸・加賀友禅とのコラボレーション。  
右・絞りの技術を使って、ブドウのような形状にすることも。



天女の羽衣は2005年の発売以来、新製品の開発を続け、10年間で1,000種類を超えた。

※ 7デニール：9,000mで7gの糸の太さ



## profile

よこやま ろまん

京都在住。イラストレーター・切り絵作家。芸術大学卒業後、ゲーム制作会社のデザイナー、ウェブデザイン、広告デザインなどを経て、フリーに。成安造形大学非常勤講師。NHK文化センター、よみうり文化センターなどでも講師を務める。京都・一乗寺のギャラリー「ド・リファージュ」にアトリエを併設。

<http://romance.fool.jp/cuttingdesign/dewrops.html>

上右／2本のナイフを使うのが横山さん流。1本はカッティング用、もう1本は紙を押さえるために使う。切り絵を続けるうちに編み出した手法である。

上左／源氏物語を題材にした作品。繊細なカッティングと優美な曲線によって、華やかな王朝文学の世界観を見事に表現している。横山さんは「今後、京都にゆかりがある文学や物語を手掛けてみたいです。特に源氏物語は大きなサイズに挑戦したいと思っています」と抱負を語る。

横山さんの切り絵がフューチャーされた特別展「オルゴールで楽しむ“不思議の国のアリス”～切り絵で描くモノクロームの幻想～」が神戸市灘区の六甲オルゴールミュージアムで開催されます。期間は、9月4日(金)～11月23日(月・祝)。詳細は下記で。

<http://www.rokkosan.com/museum/>

取材・文／ひだい ますみ

写真／竹見 脩吾



ROMAN YOKOYAMA

白×黒の卓抜な紙アート

切り絵作家

## 横山路漫

繊細さと味わい深さが魅力の切り絵。

中でも、独特の感性とすぐれた技法で美しさを追求している

切り絵作家・横山路漫さんの作品は

幅広い年齢の女性ファンから圧倒的な支持を受けている。

その独創的な世界の源とは？

美を表現するための技法とは？

横山さんが生み出す魅惑の世界を探究する。

ひと目見た瞬間、幻想的な雰囲気に包まれ、陶酔する喜びに心が震える。切り絵作家・横山路漫さんの作品には、美の世界へと誘う強い力がある。

「切り絵を始めたのは、学生時代です。もともと、モノクロのイラストを描いていたのですが、切り絵にしたら、もつと見る人々を作品の世界に引き込めるかなと思ったのです」

切り絵は、下絵をもとに黒い紙をカッティングして、背景となる白い台紙と組み合わせる。2枚の紙による半立体の表現は、色のコントラストとともに、奥行きや空気を生み出す。そのため、陰影をより繊細に描き出せる。

「難しいのは、いかに下絵の雰囲気を壊さずに、カッティングを施すかという点です。下絵通りにカッティングするだけだと、陰影がきつくなりすぎ、やわらかさがなくなってしまうのです」

一般的には、切り絵はカッティングの鋭さが特徴とされるが、横山さんは、逆に丸みを持たせるよ

う工夫している。それがえも言われぬ美しい曲線と、その名の通り、ロマンチックな作風を生み出しているのだ。

描きたいのは、様々な女性の美。ヨーロッパの古典文学や物語を題材にし、女性像を好んで描く。

「ひと口に美といっても、魅入られるような美しさもあれば、移り気な美しさ、哀しみを滲めた美しさもあります。女性なら誰もが一度は憧れるような、美しい世界を表現していきたいのです」

現在、短編映画のための作品を制作中という横山さん。切り絵による動画は、従来のファンだけでなく、斬新なアートとして多くの人の心を掴むに違いない。横山さんの世界に耽るという贅沢を楽しむ日が今から待ち遠しい。





# J-POWER NEWS

## くったり発電所の運転開始について

### ～J-POWERの水力60カ所目となる、河川維持流量を活用した発電所が運転開始～

J-POWERが建設を進めてきた、くったり発電所が、4月1日に営業運転を開始しました。

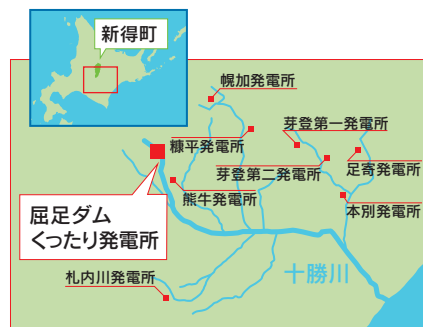
本発電所は、屈足ダム（所在地：北海道上川郡新得町）から放流している未利用の河川維持流量（夏期4.00m<sup>3</sup>/s、冬

期2.00m<sup>3</sup>/s）を活用するもので、放流設備の一部を改造して水車発電機を設置し、最大470kWを発電します。

本発電所の運転開始により、J-POWERが保有する水力発電所は60カ所、最大出力合計は857万670kWとなりました。

J-POWERはCO<sub>2</sub>フリーの再生可能エネルギーである、水力資源を活用した中小水力発電所の開発を今後も積極的に推進してまいります。

| くったり発電所の概要 |                        |
|------------|------------------------|
| 所在地        | 北海道上川郡新得町              |
| 発電方式       | ダム式（河川維持流量利用）          |
| 最大使用水量     | 4.40 m <sup>3</sup> /s |
| 最大有効落差     | 13.40 m                |
| 最大出力       | 470 kW                 |
| 着工         | 2013年10月               |
| 運転開始       | 2015年4月                |



発電所外観写真

## 湯沢地熱株式会社 山葵沢地熱発電所の着工について

### ～環境アセス法施行後初の大規模地熱発電所が着工へ～

J-POWER、三菱マテリアル株式会社および三菱ガス化学株式会社の共同出資により2010年4月に設立された湯沢地熱株式会社は、「山葵沢地熱発電所」の環境影響評価手続きが2014年10月31日に完了し、以降、着工に向けて諸準備を進めてまいりましたが、5月25日、建設工事を開始しました。

| 山葵沢地熱発電所の概要 |                           |
|-------------|---------------------------|
| 名称          | 山葵沢地熱発電所                  |
| 所在地         | 秋田県湯沢市高松字高松沢及び秋ノ宮字役内山国有林内 |
| 原動力の種類      | 汽力（地熱）                    |
| 出力          | 42,000kW                  |
| 運転開始時期      | 2019年5月（予定）               |

本発電所は、純国産の再生可能エネルギーである地熱資源を利用することにより、出力4万2,000kWの発電を行うものです。



今後は、2019年5月の運転開始を目指し、環境保全に十分配慮し安全を最優先に工事を進めてまいります。



安全祈願祭で行われた鎮入れ儀の様子。



こじま・なお 1986年東京都出身。2004年角川短歌賞受賞。2007年第一歌集『乱反射』により現代短歌新人賞、駿河梅花文学賞受賞。2011年、第二歌集『サリンジャーは死んでしまった』刊行。すぎなみ詩歌館短歌講座「やさしい短歌」講師。

## 「音」のソノリティを詠む

—— 熊野大花火 ——

歌人 小島 なお



爆音を轟かせる鬼ヶ城大仕掛け。三重県熊野市にはJ-POWERの小森ダム・発電所がある。

写真：毎日新聞社／アフロ

咲きたるのちに爆発音が来る花火の音は夏鴉なり

鈍

く低い爆発音。たちまち爆風に乘って押し寄せる、身体全体を揺さぶるような音の波。やがて静寂が戻ると闇のなかに聞こえてくる熊野灘の漣。

三重県熊野市で毎年8月に開催される熊野大花火大会。約300年の伝統を誇る花火大会で、1万発もの花火が打ち上がる。大会の目玉はフィナーレを飾る「鬼ヶ城大仕掛け」。国の名勝天然記念物である鬼ヶ城の岩場や洞窟を利用し、花火玉を直に置いて爆発させるという。花火は海上に扇状に開き、爆発音には岩場での反射音や洞窟での共鳴音が加わり、迫力のある奥行きが生まれるのだ。

花火が咲いて、爆発音が耳に届くまでははるかな夜空の距離を思う。真っ暗闇を猛スピードで一直線に飛んで来るその音は、一羽の美しい夏の鴉のようである。

※「音のソノリティ」第281回放映（熊野大花火）を観て詠んでいただいたものです。

音のソノリティ

J-POWERは、首都圏で放送中のミニ枠テレビ番組「音のソノリティ～世界でたった一つの音～」を提供しています。「ソノリティ」とは、フランス語の音楽用語で「鳴り響き」の意味。日本の自然風景から、その場所でしか聞くことのできない音を紹介しています。

日本テレビ  
毎週日曜日 20:54～（関東ローカル）  
BS日テレ  
毎週水曜日 21:54～（再放送）



# 平成26年度決算について

J-POWERグループの、平成26年度決算は、売上高7,506億円、経常利益593億円、当期純利益432億円となりました。

## ● 経営成績

### (1) 収益

卸電気事業の火力発電所利用率が前年度を下回ったことや、燃料価格の低下および松浦火力発電所2号機低圧タービンロータ落下事故の影響等により減少したものの、タイ国ノンセンガス火力発電所が営業運転を開始（1号系列：平成26年6月、2号系列：平成26年12月）したことおよび平成25年1月より順次営業運転を開始した同国7SPP（Small Power Producers）※が期間を通して稼働したこと等により、売上高（営業収益）は、前年度に対し6.2%増加の7,506億円となりました。これに営業外収益を加えた経常収益は、前年度に対し6.1%増加の7,733億円となりました。

### (2) 費用

卸電気事業の燃料費が燃料価格および火力発電所利用率の低下に伴い減少したものの、ノンセンガス火力発電所の営業運転開始および7SPPが期間を通して稼働したことに伴う燃料費の増加等により、営業費用は前年度に対し4.6%増加の6,777億円となりました。これに営業外費用を加えた経常費用は、前年度に対し3.6%増加の7,139億円となりました。

### (3) 利益

経常利益は、前年度に対し48.1%増加の593億円となり、法人税等を差し引いた当期純利益は、前年度に対し50.6%増加の432億円となりました。

## ● 財政状態

### (1) 資産の部

タイ国プロジェクトの建設工事進捗

等に伴い、前年度末から2,739億円増加し2兆6,591億円となりました。

### (2) 負債の部

前年度末から971億円増加し1兆9,628億円となりました。このうち、有利子負債額は前年度末から736億円増加し1兆7,236億円となりました。なお、有利子負債額のうち3,369億円（うち海外事業3,352億円）はノンリコースローン（責任財産限定特約付借入金）です。

### (3) 純資産の部

新株の発行および自己株式の処分等により、前年度末から1,768億円増加し6,962億円となり、自己資本比率は、前年度末の21.6%から25.9%となりました。

※SPPプログラム：熱電併給装置、再生可能エネルギー等を推進し、石油輸入・使用の削減を図ることを目的としてタイ国政府により創設された長期電力買取制度。タイ電力公社（EGAT）により9万kWまでの電力の買い取りを保障されている。

## タイ国・ウタイガス火力発電所 1号系列の営業運転開始について

～当社タイ国最大のIPP発電所が運転開始、海外IPP持分出力670万kW超に～

J-POWERがタイ国において参画しているウタイガス火力発電所1号系列（出力80万kW、以下UT1）が、6月1日に営業運転を開始しました。

ウタイガス火力発電所は、2007年の新規IPP入札において落札した、ノンセン地点に続くJ-POWERがタイ国で参画する最大のIPP事業であり、J-POWERのタイ国現地事業会社Gulf JP UT社（J-POWERの出資比率90%）を通じて開発を進めてきたものです。2012年10月24日にプロジェクトファイナンス契約を締結し、同年11月より本格的な建設工事

を実施してきました。

営業運転開始後は、電力購入契約に基づきタイ国電力公社（EGAT）に25年間にわたり電力を卸販売していきます。

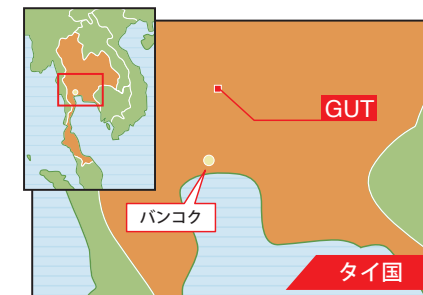
UT1の営業運転開始により、J-POWERが参画する営業運転中の海外IPPプロ

ジェクトは出力合計約2,035万kW（持分出力約679万kW）となりました。

なお、ウタイの2号系列については本年末の運転開始に向け、順調に工事を行っています。



ウタイガス火力発電所（写真手前：1号系列、写真右奥：2号系列）



## 第63回 定時株主総会を開催

J-POWERは、6月25日、東京プリンスホテル（東京都港区）にて、第63回定時株主総会を開催しました。

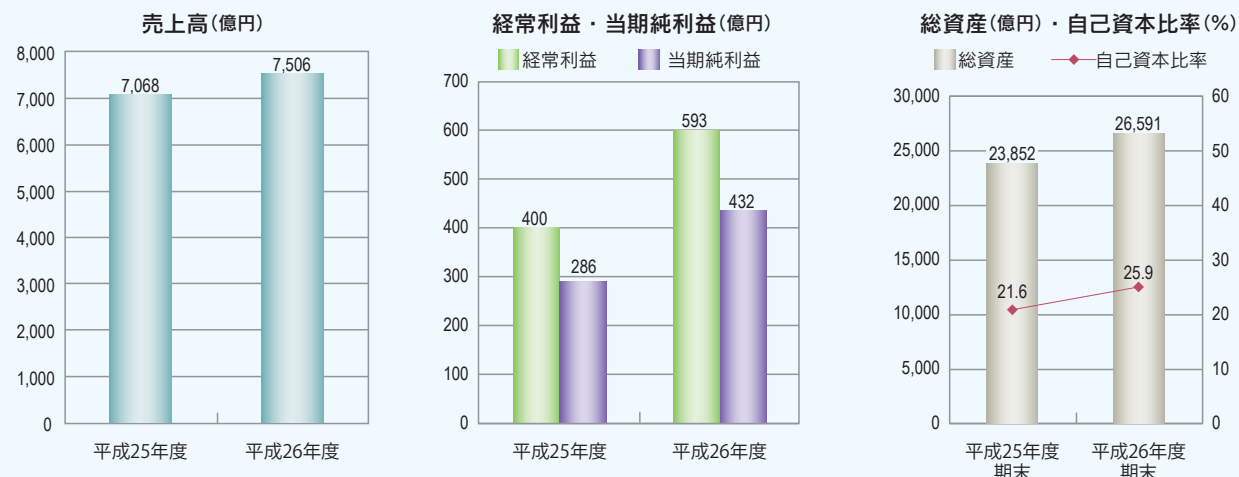
当日は702名の株主の皆様が出席され、午前10時、議長である前田会長の開会宣言により開会となりました。まず、監査報告や第63期の事業報告、連結計算書類の内容などの報告が行われ、その後、報告事項に関する質疑が行われました。

続いて議案の審議に入り、ここでは1号議案「剰余金の処分（配当）」、2号議案「取締役選任」、3号議案「監査役選任」に関して審議がなされました。採決の結果、3件いずれも賛成多数により原案どおり承認可決され、午後12時32分に閉会しました。

本総会終了後の役員の新体制は次のとおりとなりました。

| 新役員一覧     |                                                           |
|-----------|-----------------------------------------------------------|
| 代表取締役会長   | 前田 泰生                                                     |
| 代表取締役社長   | 北村 雅良                                                     |
| 代表取締役副社長  | 渡部 肇史<br>村山 均（昇任）                                         |
| 取締役副社長    | 内山 正人（昇任）<br>永島 順次（昇任）                                    |
| 取締役常務執行役員 | 福田 直利<br>江藤 修治（新任）<br>中村 至（新任）<br>尾ノ井 芳樹（新任）<br>浦島 彰人（新任） |
| 取締役       | 梶谷 剛<br>藤井 眞理子                                            |
| 常任監査役     | 佐俣 明<br>藤岡 博（昇任）                                          |
| 監査役       | 田生 宏禎<br>大塚 陸毅<br>中西 清                                    |

## ● 経営指標（連結）



2015年7月15日発行

発行：電源開発株式会社 〒104-8165 東京都中央区銀座6-15-1 TEL.03-3546-2211（代表）

URL: <http://www.jppower.co.jp/> e-mail: [webmaster@jpower.co.jp](mailto:webmaster@jpower.co.jp)

編集・発行人：広報室長 山田 秀司（非売品）

